

◎向日市民憲章◎

- 1 住みよいまちを力を合わせてつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すくれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

報 向日市

No.403

昭和62年5月15日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

民秋市政スタート

心のふれあう
住みよいまちを



五月六日、五月晴れの中、四選を果たした民秋徳夫市長初登庁。市役所前で多くの市民や市職員の歓迎をうけ、「一党一派に偏さず、公正明朗な行政で、二十一世紀に向けて明るい展望が開けるまちづくりに取り組む」との決意を力強く示しました。

対処して、市民のくらしを守り、生きがい高め、住みよいまちを築き上げるために、行政の果たす役割の大きさと責務を痛感しています。

そのためには、私は、選挙において掲げさせていただきました基本姿勢を堅持し、行財政の一層の効率化と限られた財源の重点配分により、公約の実現に向かって、積極的に施策の推進に取り組んでまいりたく存じています。特に、直面する重要課題を軌道に乗せ、六十三年京都国体を市民総参加のもと成功させなければなりません。

さらに、私は、なお財政的に厳しい状況が続くことが予測されますが、いたずらにしゅん巡することなく、福祉の充実と市民生活の向上に努め、「福祉・文化・教育の香り高い定住都市」の実現をめざして邁進することをお誓い申し上げます。

二十一世紀に向けて明るい展望が開けるふさとづくりに、今後とも市民の皆さまの格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



向日市長
民秋徳夫

私は、このたびの市長選挙におきまして、市民の皆さまのご支持を得て、四たび市政を担当させていただくことになりました。

今後、四年間、市民の皆さまから寄せられた信頼と期待に応えるべく、三期十二年の経験为基础として、心を新たに全力を傾注して、この重責を遂行してまいる決意です。

さて、今日、私たちがとりまく社会経済情勢は、急激な円高、貿易摩擦等により、景気の低迷、雇用不安など、市民にとって誠に厳しい状況にあります。

一方、地方自治体にとりましては、人口の高齢化、市民の生活様式や価値観の多様化等により、市民ニーズも複雑多岐にわたり、加えて、国・地方を通ずる行財政改革の推進による国庫補助負担率の引き下げや、不況に伴う市税の伸び悩みなどにより、厳しい行財政運営に立たされております。

こうした中において、私は、市民要望に的確に

“郷土の川を美しく、”

川はかけがえのない私たちの大切な財産です。その町を流れる川の美しさによって人びとの自然を愛する心がはかれるといわれます。

今、川に美しい流れをとりもどすために、私たちひとりひとりの協力と川をきれいにする日ごろの心がけが、ぜひとも必要です。さあ！私たちの手で郷土の川をいつまでも美しく守りましょう。

■ 向日市 川を美しくする会 ■

